

高等学校第1学年「英語表現Ⅰ」学習指導案

平成25年10月29日（火）2校時
佐賀県教育センター 所員 宮西 紀生

1 単元名
Lesson 7 Thank you for coming to my birthday party.

2 学級観
英語への興味・関心は高く、積極的に学習に取り組んでいる。また、クラスの間関係が良好で、ペアワークやグループワークでは積極的に活動を行うことができる。話す活動や書く活動については苦手意識をもっている生徒もいるので、英語を使ってコミュニケーション活動を行うことで、お互いに学び合いながら自己表現を行う機会を作りたい。

3 教材
教科書 Vision Quest English Expression I Advanced (啓林館)
Grammar 2 (p12)、(p54)

4 単元の目標
見たり聞いたりしたものについて、自分がどのような気持ちになるかを即興で伝えることができる。また、相手の話す内容について、共感したり、質問したりすることができる。

5 指導計画

指導内容	配当時間
言語活動を生徒に提示し、どのような話合いができるようになることが目標であるかを示す。話題に対して生徒の動機付けを行い、必要な表現を導入する。教科書の前半部分の言語材料を、与えられた話題について話し合うために必要な文法事項や表現に絞って、必要に応じて指導する。	1時間 (本時)
前時の学習事項を踏まえて書いた内容について、グループで話し合う。グループで出された意見などを集約し、グループごとに発表する。	1時間

6 本時の目標及び評価規準

(1) 目標

ア ペア・ワークやグループ・ワーク活動に積極的に参加し、自分の考えを主体的に話したり、コミュニケーションを円滑にする表現を使いながら、相手の話を聞いたりする。

イ 見たり聞いたりしたものについて、自分がどのような気持ちになるかを即興で伝える。

ウ 中学校での既習事項であるmakeを用いた「主語＋動詞＋目的語＋形容詞」に加えて高校での新出事項である「主語＋動詞＋目的語＋原形不定詞」の用法を理解し、表現の幅を広げる。

(2) 評価規準

①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	②外国語表現の能力	③外国語理解の能力	④言語や文化についての知識・理解
ペア・ワークやグループ・ワーク活動に積極的に参加し、自分の考えを主体的に話したり、コミュニケーションを円滑にする表現を使いながら、相手の話を聞いたりしている。	見たり聞いたりしたもののについて、自分がどのような気持ちになるかを即興で伝えることができる。	/	中学校での既習事項であるmakeを用いた「主語＋動詞＋目的語＋形容詞」に加えて高校での新出事項である「主語＋動詞＋目的語＋原形不定詞」の用法を身につけ、表現の幅を広げることができている。

7 本時の展開

時間(分)	指導過程	生徒の学習活動	教師の活動及び指導上の留意点	主な評価の観点	評価方法
10	1. Warm up Small Talk - What do you like to do in your free time?	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 本時の学習内容を確認する。 空いた時間によく行くことをペアで1分間伝え合う。 代表の生徒が全体で発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 本時の学習内容を伝えて、見通しをもたせる。 スモールトークの仕方を説明する。 相づちや質問の表現を確認する。 生徒を指名し、クラス全体で共有する。 	簡単な言葉で反応したり、間違うことを恐れず話したりしているか。(①)	活動の観察
10	2. 導入	<ul style="list-style-type: none"> Flash mobの動画を視聴する。 感情を表す語を発音して意味を確認する。 ペアで感情を表す語を使いながら、動画を視聴して感じたことを伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> リラックスして動画を視聴できるように配慮する。 正しい発音を意識してリピートさせる。 単語レベルでもよいので、相手に自分の感情を伝えるように促す。 	ペアで積極的に取り組んでいるか(①)	活動の観察

15	3. 展開	<ul style="list-style-type: none"> ・海外から投稿された動画についてのコメントを読み、コメントの内容を確認する。 ・共通して使われている表現を確認する。 ・教科書 (p12、p54) を参照して、文法項目の確認を行う。 ・もう一度コメントを読みながら、意味を確認する。 ・写真やイラストを見て、全体で内容を描写してみる。その後でペアで自分の感情やそう思った理由を伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に質問をしながら、簡単な英語で言い換えをして、生徒の理解を助ける。 ・Web上のコメントでよく使われている表現への気付きを促す。 ・教科書の説明部分に線を引かせて、ターゲットセンテンスを理解させる。 ・長い文は短く区切りながらリピートさせる。 ・教科書で確認した表現が使われそうな場面設定を行い、定着を図る。 ・共通の間違いがあれば、全体にフィードバックする。 	<p>新しい表現を理解しているか (④)</p> <p>ペアで積極的に自分の気持ちを伝えているか (①、②)</p>	<p>活動の観察</p> <p>活動の観察</p>
15	4. まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・はじめに行ったスモールトークの内容を発展させて、ペアで会話をする。 ・本日の学習の要点を確認する。 ・次回までの宿題を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パートナーを変え、聞き手は相づちや質問を促すように促す。 ・学習内容を整理して伝える。 ・次回までの宿題を伝える (好きな本、音楽、テレビ番組等について書く) 	<p>新しい表現を使って、表現の幅を広げているか (④)</p> <p>新しい表現を使って、表現の幅を広げているか (④)</p>	<p>インタビューテスト (後日)</p> <p>ワークシート (後日)</p>